

ふるさとの川・荒川づくり協議会設立10周年記念事業

「荒川大学」開校

～ミュージアムとしての荒川の 価値とこれからの利活用を考える～

東北でもっともきれいな川・荒川。この恵まれた地域資源を未来にわたって、
「わたしたちのふるさとの川」として位置づけ、さらに、親しみを感じる自然フィールドとして
利活用を図るにはどのような知恵と工夫が必要なのでしょうか？
今年度の「荒川大学」開校では地域の子ども達と河川の専門家を育成する第一歩とし、
皆さんと共に、これからの荒川の利活用を考えていきます。

日時 平成20年 2月11日
時間 AM10:00～PM4:00
場所 福島テルサ 1階・FTホール



入場
無料

主催：ふるさとの川・荒川づくり協議会 共催：福島県、福島市、福島商工会議所、国土交通省福島河川国道事務所、ふくしま荒川物語実行委員会
後援：福島市教育委員会、土湯温泉観光協会、(社)東北建設協会、財福島県都市公園・緑化協会、日本野鳥の会福島支部、阿武隈川漁業協同組合、

福島民報社、福島民友新聞社、朝日新聞社福島総局、毎日新聞社福島支局、読売新聞社福島支局、河北新報社福島総局、NHK福島放送局、
ラジオ福島、福島テレビ、福島中央テレビ、福島放送、テレビユー福島、エフエムボコ、

協力：福島キヤノン株、福島ゴム株、福島信用金庫、株福島市觀光開発

第一部 事例発表 10:00～

「こどもたちの川へとのかかわり」
市内各小学校予定

【講評】
松浦 芳孝 この指とまれ事務局長

第二部 シンポジウム 13:00～

I 「選奨土木遺産授賞式」
荒川治水・砂防事業：砂防ダム・地蔵原堰堤、露堤等

II 「基調講演」
テーマ『これからの河川のあり方と取組み』
【講師】
越智 繁雄 国土交通省 河川局 治水課 事業監理室長

III 「シンポジウム」
テーマ『荒川のこれからの利活用を考える』
【コーディネーター】
伊藤 登 協議会会員・プランニングネットワーク代表

【パネラー】
鈴木 浩 福島大学共生システム理工学類教授
知野 泰明 日本大学工学部土木工学部准教授
野崎 修司 福島市立三河台小学校校長
柴田 俊彰 福島市商工観光部長
植田 雅俊 福島河川国道事務所長
伊藤 賢之 ふるさとの川・荒川づくり協議会長

【アドバイザー】
越智 繁雄 国土交通省 河川局 治水課 事業監理室長

IV 「荒川ミュージアム宣言」
伊藤 賢之 ふるさとの川・荒川づくり協議会長

(順不同)